

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月19日

計画の名称	安全かつ強靱な下水道事業（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和05年度（4年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	広島市											
計画の目標	防災・減災のための施設整備を推進し、安全・安心に暮らせる生活基盤を整備する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	14,114	A	14,114	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)
1	水資源再生センター及び合流・汚水ポンプ場で改築が必要と判定された装置に対する改築実施率を増加させる。 水資源再生センター、合流・汚水ポンプ場の装置改築実施率 改築実施装置数（基） / 耐用年数を経過し改築が必要と判定された装置数（62基）	0%	50%	100%
2	耐震化が必要と判定された管路延長に対する耐震化実施率を増加させる。 老朽管路の耐震化実施率 耐震化実施延長（m） / 耐震化が必要と判定された管路延長（10,600m）	0%	50%	100%
3	地震、津波に対して対策が必要と判定された施設の耐震・耐津波化実施率を増加させる。 耐震・耐津波化実施率 地震、津波に対して対策を講じた施設 / 優先的に対策が必要と判定された施設（14施設）	28%	40%	70%
4	合流式下水道整備区域に対する合流改善対策済み区域の割合を増加させる。 合流改善実施率 合流改善対策済み区域の面積（ha） / 合流式下水道整備区域（2,600ha）	89%	94%	100%
5	分流式下水道整備区域で、雨天時浸入水に起因する事象の発生防止のための施設整備率を増加させる。 雨天時浸入水対策の施設整備率 整備完了施設数（施設） / 雨天時浸入水に起因する事象の発生防止のために整備が必要な施設（2施設）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	広島市	直接	広島市	終末処理場	改築	水資源再生センター改築事業	電気・機械設備等の更新・長寿命化	広島市						5,590		策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	広島市	直接	広島市	ポンプ場	改築	合流・汚水ポンプ場改築事業	電気・機械設備等の更新・長寿命化	広島市						2,347		策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠(合流)	改築	下水道管路耐震化事業	L=10,600m	広島市						3,986		-
		下水道総合地震対策計画																	
A07-004	下水道	一般	広島市	直接	広島市	終末処理場	改築	下水道施設(水資源再生センター、ポンプ場)耐震・耐津波化事業	耐震・耐津波化業務	広島市						234		-	
	下水道総合地震対策計画																		
A07-005	下水道	一般	広島市	直接	広島市	終末処理場	新設	防災拠点(水資源再生センター)整備事業	防災拠点施設整備	広島市						1,302		-	
A07-006	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠(合流)	新設	合流式下水道緊急改善事業	汚水幹線等	広島市						295		-	
	合流式下水道緊急改善計画																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	広島市	直接	広島市	終末処理場	新設	雨天時浸入水対策事業	ポンプ設備の増設、貯留施設の整備等	広島市						360		-
											小計						14,114		
											合計						14,114		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 下水道局施設部計画調整課で評価を実施	事後評価の実施時期 令和8年2月
	公表の方法 広島市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化した管路・設備の改築を実施することにより、下水道施設に起因する道路陥没などの被害の軽減を図るとともに、大規模地震に備え、下水道施設の耐震化を推進した。また、合流改善対策や雨天時浸入水対策を推進し、公衆衛生の向上に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和6年度以降も新たな社会資本総合整備計画（安全・安心な暮らしを支える下水道事業（防災・安全））において、防災・減災のための施設整備を推進し、安全・安心に暮らせる生活基盤を整備することとしている。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	合流式ポンプ場及び汚水ポンプ場の改築を優先することとしたことによる増加
	最終実績値	103%	
2	最終目標値	100%	下水道管の管内調査の結果を踏まえ、耐震化路線の優先順位を見直したことによる増加
	最終実績値	138%	
3	最終目標値	70%	対象施設の老朽化対策工事の遅延により、耐震化工事に着手できなかったことによる減少
	最終実績値	57%	
4	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
5	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	